

モニターの

# 注目

今回は、松浦 緑さんが観光ガイドボランティアを養成するための初歩講座である「文化財研修講座」に注目。実際に、講座を受けている松浦さんが、講座の内容と「観光ガイドボランティア」について考えてくれました。

## 「文化財研修講座」を受講して

### いざ、受講

広報かさおか四月号で、国体のガイドボランティアを養成するため、笠岡の歴史や文化財について勉強する「笠岡市文化財研修講座」の募集記事が掲載されているのを見ました。私は、定年退職後の新たな生き甲斐として、ガイドボランティアで活躍し、全国から笠岡を訪れる人たちのふれあいと交流を深めたいと思いい、早速応募しました。

講座生十七名で、二回の現地見学を行いました。国や県の指定文化財は、初めて見るものばかりでした。日光寺の前庭から見渡す眺望、貴重で由緒ある数々の文化財が展示してある市立郷土館などなど…。同行した市の学芸員さんの説明も親切丁寧で、熱意を感じるものでした。

### 講座の趣旨…

しかし、三回目の講座を受けたときに、アンケート用紙

が配られ、内容は「ガイドをしたいか否か」を問うものでした。笠岡弁丸出しの面白い名物観光ガイドボランティアを目指し、一日も早くやりたいたいと思っていました。あれ？観光ガイドボランティアを養成する講座じゃないの？」と思ってしまいました。

担当の生涯学習課によると、「今回の講座は、観光ガイドボランティア養成の前段階で、まず市内の文化財などに興味をもって、知ってもらおうもの」ということでした。今回は、講座開設の趣旨が明確にされていなかったのではないかと疑問を抱きました。

### ガイドボランティア 導入の課題

ただ、私のいただいた講座の案内には、この講座が修了したらガイド養成講座を実施するということが書かれています。その内容については、未だに不透明のままです。いつになったら、観光ガイドボランティアの育成のかたちが見えてくるのでしょうか。

これについても、二年前に商工観光課が募集したところ、

応募が二名だけで立ち消えになったことや、どこの観光地に行っても中核拠点がありませんが、笠岡市では広範囲にわたっているため、予約によってしか対応できないことなどなど、問題が山積みとなっている状況なのだとか。

### 今後のガイドボランティア

今後、受講生は五回の講座で終了する人と、ガイドを希望し引き続き講座を受講する人とに分かれます。私としては、十七名の貴重な人材を今後の地域の歴史及び文化の啓発活動に活かしてほしい気持ちでいっぱいです。

私の住む城見地区では、地域の人がガイドを務め、公民館活動として地域の三地区（大宜、用之江、茂平）を三年がかりで巡りました。地域には、それぞれその地域の歴史や言い伝えに詳しい人がいるものです。



▲平成15年に行われた「大宜めぐり」

このページのご意見・ご感想をお待ちしています。また、「市政についての質問・提言」などがあれば併せてどうぞ。

お便り…：〒七四一八六〇一 笠岡市中央町一

企画政策課モニター係

TEL 2114 FAX 022200